



井深陽子研究会

医療経済学

2016年10月25日（火）

教授説明会

+ 研究会活動

- 水曜日 4, 5 限
- 2016年度は3年生のみの参加であったため、
 - 4限：演習（Stataという統計ソフトを使ったコンピューターの実習）
 - 5限：研究会（本の輪読及び三田祭論文の進捗）
- 2017年度は、4,5限とも研究会で本の輪読＋三田祭論文の進捗報告を行います
 - コンピューターの演習は火曜3,4限（予定）の演習の履修
- サブゼミ：自主的な活動

+ 使用テキスト

■ 4限（演習）

■ 春学期

『計量経済学の第一歩』 田中隆一（著） 有斐閣 2015年.

■ 秋学期

Mastering ‘Metrics: The Path from Cause to Effect, JD Angrist, J Pischke, Princeton University Press, 2014.

■ 5限（研究会）

■ 春学期

『貧乏人の経済学』 AV Banerjee, E Duflo（著） 山形浩生（訳） みすず書房 2012年.

■ 秋学期

『大脱出—健康、お金、格差の起源』 A Deaton（著） 松本裕（訳） みすず書房 2014年.

+ 年間スケジュール

- 夏合宿
 - 今年は9月に1泊2日で箱根で行いました
- インゼミ（11月）
 - 医療経済学系のインゼミ
 - 成城大学・法政大学とのインゼミ
 - 社会保障系のインゼミ
 - 慶應義塾大学・法政大学とのインゼミ
 - 今年はそれぞれ3名からなる2つのグループがそれぞれ三田祭論文を報告します
- 2017年度が2期となる新しいゼミですので、上記以外にも行事を行いたければ提案をお待ちしています

+ ゼミの特徴

■ 分析の対象（例）

- 人の健康に関わる行動がどのように決まるのかという個人の意思決定
- 医療・社会保障にまつわる制度の定量的評価

■ 分析手法

- 理論と実証のうち「実証」がメインです（教員の専門性のため）
- 実証分析とは
 - 経済学の理論から予測される仮説
 - 政策の効果を測定などを、データを用いて定量的に行うことをいいます

+ こんな方は関心があるかも。。

- 日本の社会保障制度、特に医療保険財政や医療制度に問題意識を感じている方
- 「健康」という要素を社会科学・経済学的な切り口から考えてみたい方
- 統計学の授業で習った仮説検定が面白いと感じた方、データを使った分析に関心がある方
- コンピュータのソフトとしてStata, R, Gretelなどに関心がある方、または1つくらいは扱えるようになるといいなと思っている方
- 手を動かして何かするのが好きな方
- ミクロ経済学が面白いとっていて、現実に直面している問題に応用できないかなと考えている方

+ ゼミの方針

- 自主性を重んじます
 - 研究会はゼミ生が主体となり、自主的に運営することを柱とします
 - 教員は学習に関わることを中心にできる限りサポートします
- ゼミは学習の場、特にアウトプットの場です
 - インプットは基本的には講義で
 - 大講義では難しいアウトプットをゼミのメインの役割と考えます
 - 話す力（発表：教科書の輪読、三田祭・卒業論文の報告、インゼミ）
 - 理解し伝える力（質疑応答：ゼミ生同士間、教員ーゼミ生間、インゼミ）
 - 書く力（論文執筆：分析結果のまとめ、三田祭・卒業論文執筆）

+ 求めるゼミ生像

- 三田の研究会活動を楽しみにしている方
- 研究会活動に対して、自分の時間と労力を相応に割く準備のある方
- 少人数活動における責任を果たせる方

つまり、やる気のある皆様をお待ちしています！

+ 選考方法 1

- 募集人数：10名程度
- A、B日程の両方で募集を行います
- A日程
 1. 筆記試験（①ミクロ経済学の基礎、②統計学の基礎、③英語）
 2. 面接
 3. 成績表
- B日程
 1. 筆記試験（①～③から2問選択）：10月末時点での予定、変更の可能性あり
 2. 面接
 3. 成績表

+ 選考方法 2

- 筆記試験は基礎を確認するためのものですので、基本的な問題を出します
 - ミクロ：武隈慎一『ミクロ経済学』新生社
 - 統計：鳥居泰彦『はじめての統計学』日本経済新聞出版社を参考にしてください

- 面接は、教員＋4年生で行う予定です

+ 今後の予定

- オープンゼミ（11月）
 - ゼミの様子が変わるのでぜひ覗いてみてください
 - 途中入退出自由
- 三田祭論文発表（三田祭期間中）
- 入ゼミ関連情報などをお知らせするメーリスがあるそうなので、ゼミ生にご連絡下さい
 - ウェブサイトやtwitterを参考にして下さい
- ゼミに関する教員への質問はemailにて